

平成 27 年産米の放射性物質検査の結果について(第 3 報)

【要旨】

- 平成 27 年産県産米の放射性物質検査計画に基づき、3 検体について検査を実施した結果、いずれも**不検出**でした（詳細は下表のとおり）。
- この結果を受けて、検査が終了した市町村の本年産米の出荷・販売・譲渡が可能となります。

【参考】27 年産の米の検査について、市町村ごとに 10 月上旬まで順次検査を実施します。

検査結果一覧

No.	生産地	検体作成日	測定値（単位：Bq/kg）		
			放射性セシウム		
			Cs-134	Cs-137	計
1	奥州市	9/3	不検出 (<4.3)	不検出 (<3.9)	不検出 (<8.2)
2	金ヶ崎町	9/3	不検出 (<4.6)	不検出 (<5.0)	不検出 (<9.6)
3	花巻市	9/7	不検出 (<5.0)	不検出 (<3.9)	不検出 (<8.9)

(参考) 食品衛生法上の基準値（一般食品）

放射性セシウム（Cs-134 と Cs-137 の計）：100Bq/kg

(注 1) 「測定値」欄の（ ）内は検出限界値

(注 2) 検査機関：(一財) 日本冷凍食品検査協会

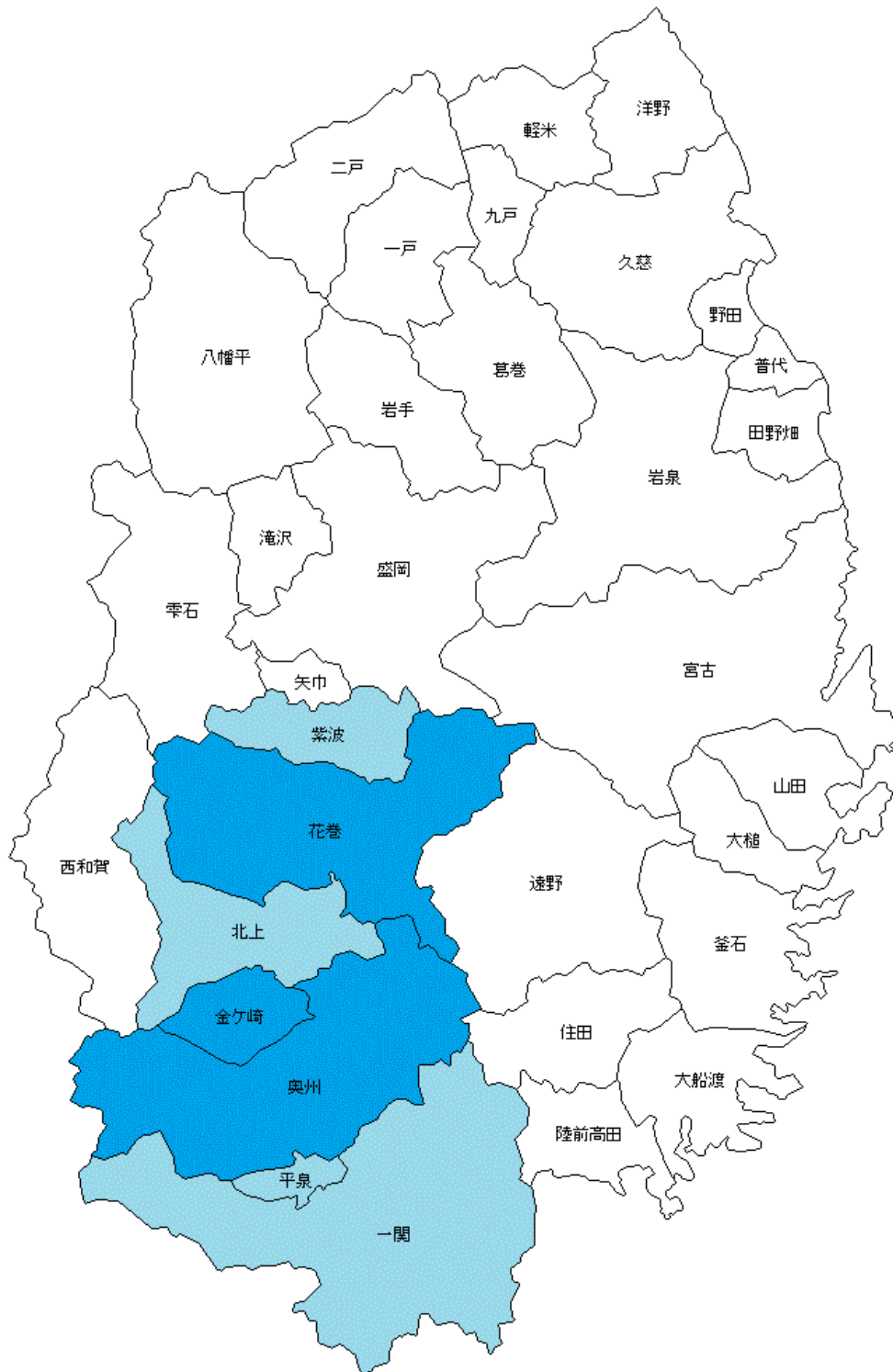
(注 3) 測定機器：ゲルマニウム半導体検出器

担当：農産園芸課 水田農業担当

Tel 019-629-5710

<参考>

平成27年産米の放射性物質検査が終了した市町村(9月10日現在)



本検査をもって、出荷・販売が可能となった市町村:

花巻市、奥州市、金ヶ崎町

これまでの検査で、出荷・販売が既に可能となっている市町村:

北上市、一関市、紫波町、平泉町

※ 本地図は、「市町村変遷パラパラ地図」
<<http://mujina.sakura.ne.jp/history/index.html>>を利用し作成。